



安全衛生管理の取り組み

労働安全衛生マネジメントシステムの厳正かつ的確な運用を通じて、労働災害の防止と安心して働ける職場環境の創造に努めています。

労働安全衛生マネジメントシステム

システムの定着と的確な運用に取り組んでいます

三井金属グループでは、働きやすい職場環境をつくりあげる仕組みとして、労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を安全衛生行動計画に織り込んでいます。2004年度より順次構築を進め、2008

年7月には、対象37所社のすべてにおいて構築を完了。現在は、システムの的確な運用に向け、定期的なRAや内部監査の実施、KY活動の推進に取り組んでいます。

労働安全衛生関連研修会と安全監査

研修と監査を通じて、安全な職場づくりを進めています

労働安全衛生法令の遵守を徹底するために、2004年から全所社を対象として労働安全衛生関連法の研修会を開催しています。また、リスクの高い所社では毎年1回、その他の所社では2年に1回、安全監査を実施。監査においては、リスク評価、危険予知、ヒヤリハットなどの安全活動の状況と労働安全衛生法等の遵守状況を確認するとともに、

労働安全衛生マネジメントシステムとの整合性をチェックしています。

ベーシックスキル研修：安全衛生	東京本社	9月1日	28名
ベーシックスキル研修：安全衛生	上尾研修センター	9月9日	15名
ベーシックスキル研修：安全衛生	彦島製錬	9月26日	19名
ベーシックスキル研修：安全衛生	三池事務所	11月1日	22名
安全衛生講習	葦崎事務所	12月22日	30名

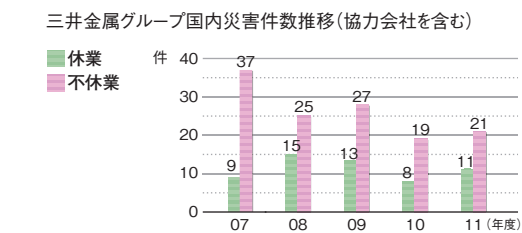
安全成績

全社災害件数は前年度より5件増加しました

2011年度のグループ国内災害件数は、前年度から5件増加し32件に、休業災害は前年度より3件増加し11件となりました。

三井金属グループでは、法令や安全基本ルールが守られないことに起因する災害を抑止するため、管理監督者から社員、協力会社まで安全基本ルールを教育し、実作業の中で遵守するよう指導しています。また、管理職によるパトロールを強化し現場での指導を行なっております。

更に、設備の本質安全化を推進する為に2012年5月に三井金属グループの設備安全設計基準を作成し教育を開始しております。



安全への取り組み

予防安全の推進に注力しています

三井金属グループ各所社は、災害予防(予防安全)に重点を置いた取り組みを進めています。RAの実施によりリスクの高い設備を改善する一方、不安全行動が引き起こす災害を防止するためKY活動に力を注いでいます。

各所社では、「目に訴える安全の仕掛け」を重視し、「安全基本ルール」や「安全最優先」を記した大型掲示板を設置。災害発生場所の標示や、横断歩道や階段での指差呼称指示の標示も行っています。

また、従業員の安全衛生意識の向上を図るため、階層別安全教育やKY教育、安全体感教育を実施しているほか、作業者との対話やコミュニケーションに留意したパトロールを就業日、公休日を問わず行っています。

理解を深めるために少人数で安全体感訓練を実施しています。ギヤやベルトに竹や軍手を巻き込ませ損傷度合いや痛みを体感する装置、感電を体感する装置、重量物を吊上げて振れた場合の衝撃やワイヤーへの挟まれを体感する装置、床の摩擦係数により滑りやすさを体感する装置などがあり、社内でも過去に発生した災害を教訓に手作りで作成したものです。



地域社会との共生

良き企業市民として地域社会の発展に貢献するため、有害物質の排出削減をはじめとするさまざまな社会貢献活動を展開しています。

「富山県立イタイイタイ病資料館」がオープン

公害の発生と克服の歴史を、関係資料やジオラマ、映像、講話により幅広く紹介

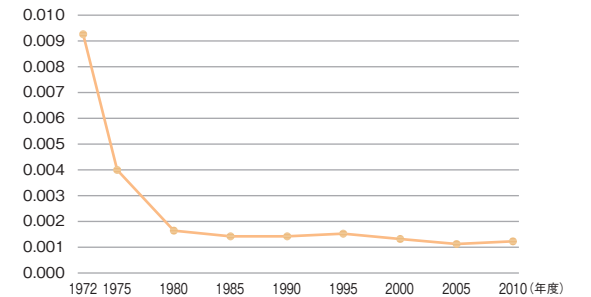
2012年4月、富山市に「富山県立イタイイタイ病資料館」がオープンしました。イタイイタイ病の歴史を、各種関係資料やジオラマ、映像を使って紹介しているほか、語り部による講話や副読本の作成、インターネットによる情報発信も行っています。公害を対象とする資料館は世界でも例を見ないものであり、国内外から大きな注目を集めています。三井金属は、公害の惨禍と克服への取り組みを後世に伝えていくことこそ当事者企業の使命と考え、資料館の建設と運営に5億円を拠出しました。

イタイイタイ病は、大正時代から1960年代にかけて神通川の流域に発生した公害病で、神岡鉱山から排出されるカドミウムが川水や農地を汚染したことがその原因とされています。三井金属(神岡鉱業)は行政と協力して被害者の救済と汚染農地の復元を進めるとともに、排水管理の厳格化に注力。その結果、神通川のカドミウム濃度は国が定めた環境基準値をはるかに下回る自然界レベルまで低下し、流域はますます美しいたずまいを取り戻しています。

三井金属は引き続き、グループをあげて環境汚染物質の管理徹底を図り、地球環境の保全と人命尊重の企業姿勢を貫いてまいります。



神岡鉱業の環境汚染物質排出量の削減実績
排水口カドミウム濃度



環境基準：0.01mg/l→0.003mg/l(2011/10/27 改正)
排水基準：0.050mg/l(1970/9/16～岐阜県)

地域貢献活動

工場周辺の環境美化に取り組んでいます

三井金属グループは、工場周辺の環境美化を重要な地域貢献活動のひとつと考えています。2011年度は、竹原製錬所、彦島製錬、三井申木野鉱山、特殊銅箔(上尾)、三井金属アクト、メサライト、三谷伸銅、ダイカスト、パーライトなどで清掃活動や地域の祭りに多数の社員が参加しました。また、竹原製錬所、三池製錬、三井金属アクトなどで地域の生徒・学生の体験学習や見学会を受け入れております。



彦島製錬付近の海岸清掃



申木野さのさ祭り